



地球大学アドバンス 第30回 [2010年度:第2回]

「TOKYOの生物多様性」～陸からの視点、海からの視点

2010.5.24 mon

東京駅前の一等地、ビジネス中心・丸の内に隣接する広大な土地が、緑と水に満ちあふれた皇居という巨大な空虚であるというのは、実に日本的な「中空構造」と言えるかもしれません。

しかも、それは驚くほどの豊かな生物多様性を擁する空間であることが、国立科学博物館などの調査によって判明しています。この産業的には何の機能も持たない「反生産的」な空間は、メガシティ東京の環境経済学を深いところで支えるツボなのかもしれません。

一方、皇居の反対側には、江戸前の食文化を育んだ豊かな海があります。5月くらいになると、スズキやボラなど外洋の魚も産卵のために数多く入り込んでくる、いわば“太平洋の子宮”のような東京湾——。干潟の減少、汚染や富栄養化、底層部の貧酸素化など、環境的に抱える問題はまだまだ多いものの、鮎の遡上が多摩川で復活するなどグッドニュースも増えてきました。

明治以降の陸上交通の発達、そして東京オリンピックを契機とした水路の暗渠化など、水に背を向けてきた近代都市のベクトルを逆転させて、海まで視野に入れた都市デザインを構想すべき時がきています。また皇居という生態学的ノードとの連携で、丸の内や銀座が「緑の回廊」を形成するようになれば、20世紀の東京とはまったく異なる未来都市のビジョンが描けるはずです。

今回は国立科学博物館の연구원として「皇居の生物多様性」調査に参加されてきた西海先生、そして干潟の保全や東京湾の生態学的研究を手がけられてきた清野先生に、生物多様性の視点でのTOKYOの現在と未来を語っていただきます。

[topics]

- 意外に知られていない東京の生物相の豊かさ
- 生物多様性からみたTOKYO～陸からの視点、海からの視点
- 他の日本の都市との比較でみた東京のプロフィール
- 生物多様性の観点から、まちづくり・都市デザインに必要な指針

開催概要

日時: 2010年5月24日(月) 18:30~21:00

ゲスト: 西海 功氏

(国立科学博物館動物研究部・研究主幹(鳥類))

清野 聡子氏

(九州大学大学院工学研究院環境都市部門 准教授)

企画・司会: 竹村 真一氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場: 新丸ビル10階「エコツェリア」

地図: <http://ecozeria.jp/access.htm>

定員: 50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法: 事前登録が必要です

事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費: エコツェリア会員企業に所属の方: 無料

*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方: 有料2,000円

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/21:00 閉会